

「求められる市庁舎のかたちを考えよう」

～市庁舎に求められる**立地条件**と ふさわしい**エリア**とは～

～第4回市民会議より～

盛岡市

1

第4回市民会議の報告をいたします。テーマは「市庁舎に求められる立地条件とふさわしいエリアとは」です。
前半の立地条件につきましては私が担当いたします。
よろしくお願いいたします。

第4回市民会議の概要

- 日時 令和4年10月1日(土)
午後1時30分から4時30分まで
- 場所 勤労福祉会館5階大ホール
- 人数 23人(4~5人×5グループ)
- 進め方 グループごとに役割分担(進行、発表者、記録係)し、まずは、個人ごとに「市庁舎に求められる立地条件」を付箋に書き出しました。その後、個人意見を紹介しながら意見交換を行い、グループ内の意見を整理し、発表しました。また、ふさわしいと考える市内のエリアを個人アンケートで書き出し、発表しました。

2

第4回市民会議の概要でございます。

10月1日に本施設において開催され、23名が5グループに分かれてワークショップを行っております。

ふさわしいエリアについては、参加者個人にアンケートがとられております。

立地条件とエリアについては、ある意味市民会議の肝となる部分で、非常に意見の分かれるところであり、各グループで活発な意見交換が行われております。

したがって、整備エリアについて決定した場合には、その理由を市民にしっかりと説明いただくことが必要になるのではないかと思います。

私たちが考える

市庁舎に求められる立地条件

第4回市民会議より

3

それでは市庁舎に求められる立地条件でございます。

私たちが考える「市庁舎に求められる立地条件」

☆ 防災・災害対策

☆ 環境・土地

☆ まちづくり

☆ 交通アクセス

☆ その他

シンボル

財政

...

立地条件については、防災・災害対策、環境・土地、まちづくり、交通アクセス、その他という5項目にまとめております。

防災・災害対策

・災害にあう可能性が少ない場所

地震(地盤の固さ)、洪水(浸水想定区域外)、噴火・・・

・災害対策の充実が望める場所

避難所としての利用、防災教育拠点、防災機関との連携、通信インフラ、リスク分散(2拠点化)・・・

5

最初は防災対策です。

東日本大震災を経験した岩手としては災害にあう可能性が少ない場所ということが重要になってくると思います。

また、災害に強いとの表現ではなく、リスクがより少ない場所。地盤の固さですとか、洪水の心配、岩手山の噴火などの観点から選定していくというものです。

また災害発生時には建物自体が防災拠点となり得る必要があります。各防災機関との連携を考慮し、避難場所として適した広さを持つ土地ということが必要になると思います。逆にリスクの分散という意味では、二拠点化という意見もありました。

環境・土地

・市庁舎がある景観、市庁舎からの景観

岩手山の眺望、公園・噴水、小高い丘・・・

・歴史・文化が香る場所

盛岡城跡、歴史的建物・風景・・・

・自然との融合

人を癒す自然環境、緑・花、日当たり・・・

・余裕ある広い土地

6

続きまして2つ目、環境・土地です。

公園や噴水が近隣にある、花や緑、岩手山といった自然が多く、すばらしい景観を生かしつつ、盛岡城跡や歴史文化に触れることができることが、盛岡を象徴する庁舎を建設するにふさわしい場所であるという意見がありました。

まちづくり

- ・ **中心市街地** ⇔ **中心に限らず？**

起点となる場所、人口の中心、どこからでも行きやすい・・・

- ・ **経済発展**

賑わい、市街地潤う、発展性、空洞化、既得権益こだわらず・・・

- ・ **人の往来**

人が集まる所、交流しやすさ、世代間交流・・・

- ・ **官公庁連携**

7

3つ目がまちづくりでございます。

市庁舎とはまちづくりの中心であり、市民が交流しやすく賑わいを創出できる土地であることが重要です。

また、デジタル化が進んだとしても県庁所在地として県や国の機関と連携がとれるということも考慮が必要です。

ただし、これまでの中心地という概念にとらわれない発想もまちづくりには必要でないでしょうか。

交通アクセス

・鉄道

遠方からのアクセス、わかりやすさ、バス路線が集中・・・

・バス

バス路線が集中、新バスセンター近く・・・

→ 市民も職員も
行きやすい場所

・マイカー

交通政策とマッチした駐車台数、立体駐車場、主要道路近く・・・

・歩行者・自転車

広い歩道、自転車走行帯、歩行者優先、音が出る信号・・・

8

4つ目は交通アクセスです。

鉄道やバスなどの公共交通機関の要所であり、自家用車だけではなく、自転車や徒歩でも利用しやすい起点となる場所という意見が出ております。これは利用者だけではなく、そこで働く職員の方も働きやすい地の利であることも大切です。

また駐車場問題は解決が必要ですが、広い土地ということではなく、駐車台数や1台当たりのスペースといったキャパシティが確保できること、場合によっては立体駐車場にすることも検討の余地があるという意見がありました。

その他

・シンボル性

分かりやすい場所、目立つ場所、さんさ踊り、盛岡らしさ・・・

・財政負担

用地取得費、別機能との合築、多機能化による収益確保・・・

・その他

風水的、分庁舎とのバランス、50年・100年・200年先
立地選択を説明できる場所・・・

9

その他、様々な意見が出ております。

どのような庁舎であるかという点と重なりますが、盛岡のシンボルとして分かりやすい場所、さんさ踊りやシティマラソンの出発地点にもなり得る場所、また市民の負担や市の財源との兼ね合いも考慮し、例えば合築や多機能化なども視野に入れた立地も検討していただきたいと思えます。

それから先ほどからも出ておりますが、100年先でも、なぜこの場所を選択したのかをしっかりと説明できる場所であることが大切だという意見が出されました。

以上、立地条件へのまとめを発表しました。

ふさわしい整備エリア

～市民会議参加者アンケートより～

第4回市民会議より

10

後半のふさわしい整備エリア～市民会議参加者アンケートより～を担当いたします。よろしくお願いいたします。

「ふさわしい整備エリア」候補

☆ 内丸エリア

☆ その他

☆ 盛岡駅西エリア

☆ 盛南エリア

11

市民会議では、市庁舎に求められる立地条件を整理した後、新市庁舎の整備エリアはどこがふさわしいかをアンケート形式で個人ごとに意見を整理し、何人かに発表いただきました。

では整備エリアごとに出された意見を紹介いたします。

ふさわしい整備エリアの候補として、内丸エリア、盛岡駅西エリア、盛南エリアそしてその他となりました。

内丸エリア

- ・古くから政治、経済の中心
- ・盛岡城跡を中心に歴史・文化を次世代に繋ぐ
- ・他の官公庁に近い
国・県と連携。他機関との合築。官公庁街として市民が慣れ親しむ。
- ・現市庁舎位置から移動するデメリットが大きい
- ・バスでのアクセスに優れている
- ・市民、観光客・市外からの来庁者に便利
- ・周囲の緑豊かな環境
- ・防災面で比較的安全性が高い

12

ではまず、内丸エリアがふさわしいとされる方のご意見から紹介します。

古くから政治、経済の中心にあり、現市庁舎の位置から移動するデメリットが少ない。

あえて新天地にその場所を求めるのもよいが、長年市民に慣れ親しまれたこの地で市政発展を伸ばしていくのも大切なのではないか。

それから、公共交通網によるアクセスに優れている、他の官公庁に近い、国・県と連携、他機関との合築も可能である。

そして、盛岡城跡を中心に歴史・文化を次世代につなぐことも可能であって周囲に緑豊かな環境が整っているのではないかというご意見でした。

盛岡駅西エリア

- ・交通の利便性が最も優れる

鉄道・バス両方が便利。都南や玉山からも便利。

首都圏からのアクセスが良い。他県からの移住者にも分かりやすい。

多くの市民が憩いやすい。職員も通勤しやすい。

公共交通を中心とするまちづくりができる。

道路が広く消防本部が近い。

- ・市有地があり、財政負担が小さく、整備スケジュールがたてやすい

- ・ゆとりのある敷地にゆとりのある空間を生みながら整備できる

- ・新幹線や駅から見え、北東北拠点都市のシンボルに

- ・盛岡の中心のイメージ

- ・西口に賑わいをもたらし、都市のイメージアップになる

13

次に盛岡駅西エリアです。

交通の利便性が最も優れるというのが一番多い意見でした。鉄道・バスの両方が便利で、都南や玉山からも便利、首都圏からのアクセスもよく他県からの移住者にも分かりやすい、公共交通を中心としたまちづくりができる。

そして市有地があり財政負担が小さく整備スケジュールがたてやすい、ゆとりのある敷地に余裕のある空間を生みながら整備できる。

新幹線や駅から見え、北東北拠点都市のシンボルになるのではないかと。

しかし、ここは洪水想定エリアが大部分を占めており、建築方法などを含めた検討が必要になります。

盛南エリア

- ・新たな都市の発展軸となる
- ・過去の価値観に束縛されず、自由な発想、アイデアが展開
- ・県都として未来的発展が可能となる

広い土地で新たな都市デザインが可能で、産業・企業進出も期待。

14

次に盛南エリアです。

ここは新たな都市の発展軸となり得ます。

過去の価値観に束縛されず、自由な発想、アイデアが展開できる期待値があります。

県都として未来的発展が可能となります。広い土地で新たな都市デザインが可能で産業・企業進出も期待できます。しかし、この地域は土地取得がこれからとなります。

その他のエリア

- ・盛岡市宮野球場用地

市街地からほど近い。用地取得不要で広い土地。国道4号も近く車でのアクセス良好。木造建築も可能では？

- ・小高く広い場所(100年後の中心になる場所)

- ・盛岡城跡公園内

- ・他の市有地

- ・県庁との複合施設(駐車場なども合わせて整備できるエリア)

私たちが考えた

**「市庁舎に求められる立地条件」や
「ふさわしい整備エリア」の意見を
新市庁舎の整備につなげてほしい。**

第4回市民会議より

16

私たちが考えた「新市庁舎に求められる立地条件」や「ふさわしい整備エリア」の意見を新市庁舎の整備に反映していただき、市民そして市職員の方々のご意見を取り入れられた上で、レガシーのある新市庁舎の建設場所そして新市庁舎を決めていただきたいと思います。

また、決定にあたっては、なぜそのエリア、土地だったのかを透明性をもってしっかりと市から市民へご説明をいただきたいと思いますということを付け加え、最後に市民会議の意見がすべてではないことも付け加えてさせていただきます、第4回市民会議の報告は以上とさせていただきます。ありがとうございました。